

## もくじ

1. 特集 ニホンジカについて
2. 第6回活動 ~歩道修理~の報告
3. 第8回活動 ~枝打ち~のご案内
4. 臨時ボランティアの募集「ニホンジカ生息数調査」

## 特集 ニホンジカについて

大昔から棲んでいた房総半島のニホンジカは 1960 年頃に絶滅しそうになり、1961 年以降千葉県は有害獣駆除を除き、ニホンジカを保護してきました。その結果、現在は 3,500 頭前後にまで増加したと推定されています(図1)。また、分布域は 1974 年には約 40k m<sup>2</sup>だったのが、現在では約 440 k m<sup>2</sup>に広がりました。

千葉演習林では、1981 年頃からスギ・ヒノキ苗の新芽がニホンジカに食べられるようになり、1986 年以降は全域で被害を受けています。また、ニホンジカによって天然林の下層植生がほとんど無くなったり、ヤマビル・ダニなどが増加しています。

千葉演習林では、森林動物の保護と森林動物による森林被害の防止に関する基礎資料を得るため、1991 年から「区画法」によるニホンジカの生息数調査を始めました。これまでの経験で森林被害が激化しない密度は 5~6 頭 / k m<sup>2</sup>とわかれていますが、調査結果は 10~20 頭 / k m<sup>2</sup>で、3 区とも横ばいの傾向にあります(図2)。

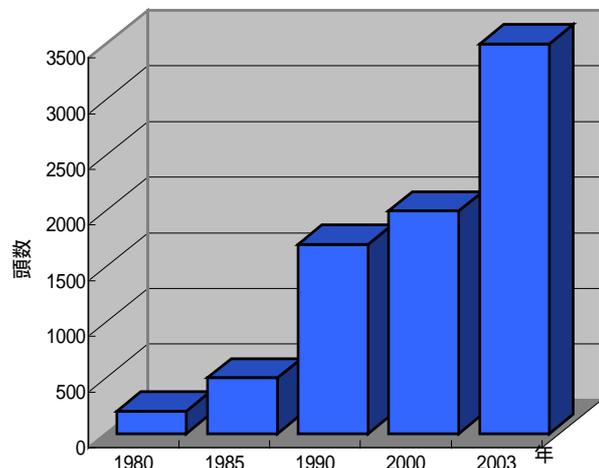


図1 房総半島のニホンジカ生息数

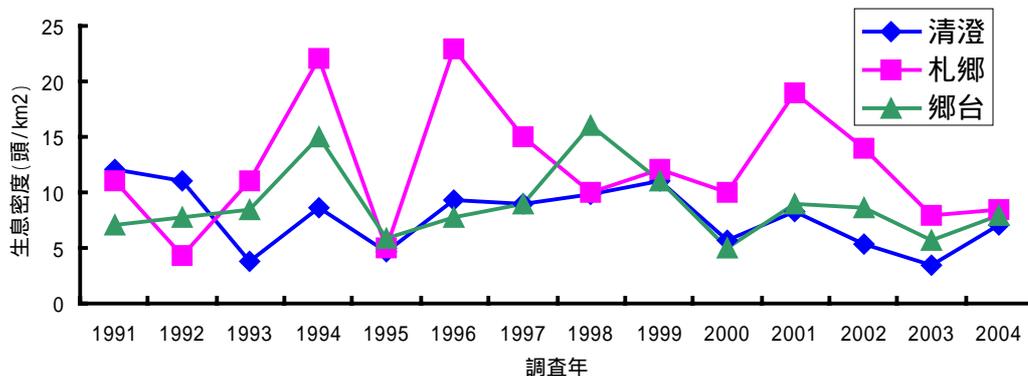


図2 千葉演習林におけるニホンジカの生息状況

# 千葉演習林ボランティア第6回活動の報告

ボランティア 西山康利

10月23日(土)の一日間、“歩道修理”作業を行いました。参加者はボランティア6名、職員4名でした。

今回は日帰り作業のため宿舎には行かず荷物等は車内に置き、清澄作業所にて職員の方から作業スケジュールと注意事項等を受けました。顔見知りの方も参加されていましたが、初めての方々と打ち解けて和やかな打合せが出来ました。前回、前々回とも暑い日だったため「ヤマビル」や「蜂」等の対策を念入りに受け緊張しましたが、今回は大分気温も低くなり出て来る割合が少なくなったとの説明もあり少し安堵しました。

2台の車に分かれて乗り合わせ1台は郷台作業所方面に向かい、もう1台は四方木方面に向かいました。象ノ背歩道を両方向から修理することとなり自分は郷台作業所方面の作業に就きました。この場所は12月1日に開催される「千葉県インストラクター会の特別講座」の説明会場になるかも知れないとのことでした。若い杉の木が植林された山で歩道入り口の階段作りが主な作業です。



前回から比べると足場も良く土質も軟かく作業は楽です。四方木方面に向かう歩道は修理する箇所が少なく午前中に四方木方面から修理して来た班と途中で合流しました。そのまま四方木方面に向かって下山しましたが途中歩道が綺麗に修理されて気持ちが良くいつも感じる遣り甲斐です。この歩道は民間林内の歩道でしたが全体に山の手入れがされていない実情を垣間見ました。

昼食は郷台作業所に向かう林道の途中で山ノ神様を祀ってある小高い丘の上がありそこで全員で食べました。昼食時間は職員の方やボランティア仲間といろいろな情報交換をするのも参加する楽しみの一つです。今回は天候も見晴らしもよく最高でした。

午後は、小屋ノ沢歩道と願人坊歩道の2箇所の修理を行いました。

3箇所目に行った修理箇所(願人坊歩道)は清澄寺の北東側になり麻綿原方面への向かう方向です。ここの歩道は急斜面で今日一番の難所でしたが、前回前々回に教えて頂いたことが発揮出来る場所です。つい力が入り気持ちの良い汗をかきました。

あっという間に日も傾き終了の合図がありましたが、まだまだこの歩道は下りに向かって修理箇所が多くあり後ろ髪が引かれる思いで作業箇所を後にしました。今回は修理場所が3

箇所に分かれましたが、今まで行ったことのない場所で多少環境が変わるため生育している植物等も変わり途中で職員の方に珍しい草花の名前を教えていただいたり、アケビを失敬して食べたりと普段味わうことのない新鮮さを味わうことが出来ました。

ヤマビル、蜂の被害、怪我人もなく楽しい一日を過ごし、職員の方々には何かと気配りしていただいたこと感謝しております。

一つ心残りは前回作業した郷台作業所の「苗畑根切り」作業後の状況を見る事が出来なかったことが残念です。どうか1本も枯れていないこと祈ってます。

来年に向けて体力を付けて頑張ろう！



## 千葉演習林ボランティア第8回活動のご案内

### 枝打ち

**日 時** 平成 17 年 **1 月 20** 日 (木) ~ **21** 日 (金) (宿泊)

**集 合** 清澄作業所 20 日 9:40

**解 散** 同 21 日 16:00 頃

**内 容** 枝打ち  
手の届く範囲の枝をノコギリで切ります。  
(内容が変更する場合があります。)

**人 数** 9 名 原則として先着順

**持 ち 物** 活動要項をご覧ください。

**雨 天 時** 来年度の打ち合わせ、森林博物資料館の掃除など

**受付期間** 12 月 20 日 (月) ~ 1 月 6 日 (木)

**申込方法** 電話、FAX、E-mail のいずれか

#### 申込、お問い合わせ先

東京大学千葉演習林天津事務所

企画調整係 村川、相川

TEL 0470 - 94 - 0621 FAX 0470 - 94 - 2321

E-mail [chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp)

## 臨時ボランティア募集 「ニホンジカ生息数調査」

1~2人ずつ森林の割り当てられた区画内に入り、一定時間内に何頭のシカを目視できるかを調査する「ニホンジカ生息数調査」の臨時ボランティアを募集します。今年で15年目になるこの調査の結果は、シカの生息密度を算出するための貴重な基礎データとなります。

日 時 平成17年1月6日(木)~7日(金)(宿泊) 小雨決行  
集 合 清澄作業所 6日 8:30  
解 散 同 7日 16:30  
持ち物 1日目の昼食、時計、筆記用具、雨具、防寒衣、携帯電話(持っている人)など  
人 数 若干名(山歩きに慣れ、地形図を読める方)  
宿泊場所 清澄学生宿舎  
参加費 2,240円(食費、施設使用料)  
受付期間 12月22日(水)午後5時まで

参加者には詳細なスケジュールをお知らせします。



---

千葉演習林ボランティア通信 No.6 2004/12/17 発行

東京大学千葉演習林

〒299-5503 千葉県安房郡天津小湊町天津 770

TEL 0470 - 94 - 0621 FAX 0470 - 94 - 2321 E-mail [chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp)

ホームページ <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/>

現在の千葉演習林ボランティアへの登録人数は31名です。千葉演習林ボランティアに参加するには登録が必要です。申込方法はホームページをご覧ください。